

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定格	電圧	250V AC				使用温度範囲	-30℃ ~ +85℃ (注1)				
	電流	2A				保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃ (注2)				
性能											
	項目	試験方法				規格				QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致すること。				○	○
	表示	目視にて確認する。								○	○
電気的性能	接触抵抗	100mA (DC又は1000Hz) で測定する。				30mΩ以下				○	—
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。				1000MΩ以上				○	—
	耐電圧	AC 650Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	—
機械的性能	繰り返し動作	30回の抜き差しを行う。				①接触抵抗：30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐振性	周波数10~55Hz、片振幅0.75mm、3方向 各2時間試験する。				①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² 、持続時間11ms、正弦半波3方向 各3回試験する。				①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度+40±2℃、湿度90~95%の条件で、96時間放置後、試験する。				①接触抵抗：30mΩ以下 ②絶縁抵抗：500MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5~+35 → +85 → +5~+35℃ 時間 30 → 5~15 → 30 → 5~15分 を5サイクル 試験する。				①接触抵抗：30mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	半田耐熱性	【70-半田付けの場合】 半田温度 260±3℃、 浸漬時間 10秒間の半田付けを行う。 【手半田の場合】 半田ごてで290±10℃、3秒の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に無理な負荷をかけないこと。				外観の変形及び端子等に著しいがたがないこと。				○	—
	半田付け性	半田温度 245℃、 浸漬時間 10秒間の半田付けを行う。				半田浸漬面の95%以上が新しい半田で濡れていること。				○	—
備考						製図	設計	検図	承認	出図	
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。 (注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温度範囲を適用。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.		製品規格表				製品名 DF11-14DS-2DSA (05)					
旧CL CL		図番 SLC4-080249-01		製品コード CL543-0557-0-05		1/1					